

編集後記に代えて ～スタッフからのメッセージ～

参加市民の皆様、スタッフおよび関係者の皆様ありがとうございました。第4次基本計画が市民の声でより良い計画となり三鷹市がもっと良くなることを期待しています。

吉田純夫 実行委員長

まちづくりディスカッションを通じてまた新たな出会いに感謝いたします。

埴村貴志 副実行委員長

日常生活では、なかなか係わりを持つ機会が無い行政の取り組みに参加された皆様、それぞれの立場からの広範囲で貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

岡田裕一 副実行委員長

日頃は小中学生を中心とした子どもたち、とりわけコミュニティ・スクールに携わっていますが、こうして多くの方々の思いが次世代を育成する力につながっていくんだな、ということを実感できました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

四柳千夏子 副実行委員長

市民のまちづくりに対する意識の高さに感動を憶えました。協働のまちづくりを目指す三鷹市を肌で感じられたことは、私にとって大きな経験でした。参加できたことに御礼を申し上げます。

臼井正勝 委員

皆様、大変お疲れ様でした。改めて、ボランティア、行政、市民参加者を含む全ての方の意識の高さを間近で感じる事ができ、自分自身大変勉強になると共に、力を合わせれば何でも出来る可能性を感じざるを得ませんでした。三鷹の底力計り知れません。今後も大いに盛り上がり、市民にできることは市民で、行政がやるべきことは行政で、そんなまちになれば素晴らしいと思います。

菅沼将晴 委員

まちづくりディスカッション2006から参加させていただいておりましたが、今回も初めて参加される方が大部分で私自身も勉強になりました。今回参加された方が次回は運営側に……。そういう風になつたらさらに素晴らしいまちに三鷹はなりますよね。多くの皆様に感謝申し上げます！ありがとうございました。

村井 亨 委員

役割分担ごと業務をスムーズにこなし、会全体の運営は上手く行っていた。養成講座、準備段階からの市民協働ネットワークや市のスタッフのご尽力の成果だと思えます。

日頃から市民活動から距離をおく人たちが無作為に選ばれ第4次基本計画に参加いただいた意義は大きく、結果は計画に反映されたい。残したい意見からも良い提案は計画に加えてもらいたい。

樋上 寛 委員

実行委員に参加できてよかったと思っています。委員長をはじめ、中心となられた方々はご苦労が多かったと思いますが、私は楽しく参加できました。

ディスカッションの参加者が時間の経過とともに親密さを増し、役割分担もスムーズに行われ、話し合いがよりよく進行していったことに感動しました。初対面の人たちがあんなに熱心に話し合える、あちら側に私も選ばれたいと思いました。

小野静江 委員

市民として今回コーディネーター養成講座の機会を得て受講、回を重ね当日を迎えた。この日までの資料や技術的な資料・最近の情報にも目を通し学習させていただき自分なりに準備も出来た。

ディスカッション当日、グループメンバーと共に私も情報提供を受け各グループに分かれ開始。メンバーから率直な質問や意見が出され、それぞれグループ内で解答を得たり、活発な討論が展開され、さらに結果を発表。テーマ毎にメンバーも変わる中、回を重ねる毎に「核心」をつくようになって来ている姿が印象的であった。傍らで見ている自分の姿にもかぶせ自己啓発の良き日となった。

4次計画が発表された後、今回のグループメンバーと話し合う機会が出来たら良いと思っている。(次年度の参考として)

窪松生久男 委員

一つの課題に対して深く話し合う難しさがあるのではないかと、得意分野、平素考えてない分野、いろいろだと思いますので、二つの課題ぐらいで意見を出せ合えば、市民も問題に参加意識が充たされるのではないかと思いました。

阪本寿明 委員

まちづくりディスカッションに参加し、市民の方々と種々お話ができた事は、私にとって有意義な体験となりました。従来から三鷹市で実施していましたが、市民の皆様も新しい手法に感心して参加していました。大変良かったと思えました。無事第4次計画に反映する事を期待しています。

井伊良男 委員

初めての経験でしたが、事前の委員会から楽しい時間を過ごさせていただきました。

当日は受付作業がスムーズに運ばず、ご出席の皆様にご迷惑をおかけしました。

娘さんに背中を押されて出席して下さった友人が新しい目を開かせてもらったと喜んでくださいました。

清水靖子 委員

地域のことについて、お互いを全く知らない者同士が真剣に論じ、新しいつながりが生まれてくる・・・そんな場に参加することができ、感動です！

高瀬香織 委員

2日間のまちづくりディスカッションで、参加者の表情やまちづくりについての姿勢がどんどん変化していく様子を目のあたりにするという楽しく、貴重な体験をしました。2日目の最後には、名残惜しそうにメールアドレスの交換をする参加者たち。みなさん異業種、異世代など普段接点がない方々との交流が新鮮だったのではと思いました。

小林七子 委員

今回の特徴である研修を受けたコーディネーターのみなさんの活躍がまちデイスを前進させた思いがしました。

物江純子 委員

「まちづくりディスカッション」実行委員会に参加して市の課題に真剣に接する機会を得た。二日間にわたる市民討議では、参加した市民の大多数が今回の手法を評価していたが、本質の議論ができたかといえば疑問は残る。討議のテーマに財政規律の問題もあると良かった。数年後にくる市の行財政の課題について、どれだけ市民が理解して課題を共有できたか？市の情報提供をどれほどの覚悟をもって臨むか甘い期待は後世に憂い。

赤瀬文隆 委員

コーディネーターとして、初めて参加させていただきました。事前の不安はなんのその、参加者の方々が自発的に熱心に討議をされ、こちらまで思わず参加したくなってしまいう程、楽しい雰囲気2日間でした。今でも、参加者の方々が笑顔で帰られたのが心に残っています。

倉林孝明 委員

まちづくりディスカッションは本当に大勢の市民コーディネーターの方と三鷹市との協働の中で大成功だったと思います。

当日どうなるかと思っていましたが、スムーズな流れの中で選ばれた市民の方も気持ちよく、そして楽しく話し合い、意見の交換が出来ました。また、発表も和気あいあいの雰囲気の中、拍手で終了できました。私も貴重な体験をさせていただきました。協働センター職員、実行委員の皆様、ありがとうございました。

高野まゆみ 委員

4つのテーマは私自身、関心のあるものばかりでした。情報提供者の方々のお話、参加された市民の方々の話し合いを聞くことができ、三鷹市の現状を知るいい機会となりました。

この話し合いから出た意見が、どのような形で市政に反映されていくのかを楽しみにしています。

事務局のみなさんのご準備、大変だったことと思います。本当にお疲れ様でした。

竹上恭子 委員

初めに、自分自身の啓発の機会を与えていただいたことに感謝をいたしたい。

一般参加の方々は無作為で抽出されたとはいえ、参加についての同意をされただけあって、目的意識を持って臨んでおられたように思われました。初日第一回目の話し合いで皆さんが各班のテーブルに着いた時点では、その表情などから「この方は馴染めるかな？」という不安もよぎったのですが、話し合いの回数が進むにつれてディスカッションに溶け込んでおられましたし、逆に特定の方の声がグループ全体を仕切るというようなことも見かけられませんでした。

この手法が民意の反映には有効であると実感したところであり、これからも多方面で応用されるとよいように思います。

小林義男 委員

市民の声をまちづくりに反映させるためのお手伝いをできた事はとても貴重な体験でした。参加者の皆さんが多様な意見を出し合い、相手を尊重しながら意見をまとめ上げていくプロセスが素晴らしいと感じました。このディスカッションそのものが、まちづくりなんだと思いました。今後、小規模でもまちづくりディスカッションが定期的開催されるとよいのではないかと思います。

横山哲也 委員

まちづくりディスカッションへの参加は、いずれもコーディネーターとして、4回目となります。毎回、新たな感動を覚える貴重な機会と感じています。今回は、グループ内で分担する役割を、初体験にもかかわらず、皆さん実にスマートに遂行されたことです。

参加の皆さんには、この貴重な体験を生かしていただきたいし、運営側にはそれができる仕組みの構築を提案します。

本山幸彦 委員

2006年、まちづくりディスカッションの第1回の時、初めて出会った年齢も立場も違う人どうして果たして話し合いが成立するのかわかるとも心配でした。しかしそれは杞憂でした。毎回メンバーが入れ替わって自己紹介から始まるのですが、見事に話し合いは進んでいくのです。人と人が出会って話し合うって素晴らしいなあと感じました。

年一回100人が経験するわけですが、10年続けても経験者はたったの1000人。ちょっと惜しい気がします。

鈴木千賀子 委員

テーマ：「活力と魅力のあるまち」を担当しました。

私は初めてまちづくりディスカッションを体験しました。コーディネーターとして参画でき、満足感一杯です。参加の市民の方々は、1日目、2日目とますます自分たちの町としての認識が深まり、テーマによる議論に熱を帯びてきました。初対面も終了時には仲間となっていました。良かった！

小澤敏男 委員

無作為抽出の市民参加方式が全国に広がり、今回は三鷹市の基本計画の手法に活用されたことは素晴らしい事だと思います。“市民参加、協働のまちみたか”の舞台を動かす皆様の、日頃からの努力に心からエールを送り、また同じ市民として誇りを感じます。「ありがとうございました」。

河瀬謙一 委員

実行委員のみなさまをはじめ、関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。二日目の手あげアンケートで参加者全員が〈まちディス〉の手法について評価したことが、運営者としての満足度を得ることができました。今後も、市民参加について広い視野から検討をしていきたいと思いをします。

正満たつる子 委員

当初の緊張感が溶け、語り合うことの楽しさに目覚めたかのように活発なディスカッションに変化してゆく様が感動的でした。この参加者の想いがより豊かに計画に反映されることを望みます。

宮川 齊 委員

はじめて出会った市民同士が、議論とともに親交をも深めていく姿に感動を覚えました。たくさんの方の皆様が、参加者として、また運営者としてそれぞれの持ち場を支え、素晴らしい成果を上げた“協働”の現場に、NPO法人のメンバーの一人としてリアルタイムで時を共有できたことを本当にうれしく思っています。関係の皆様から心から感謝申し上げます。

清水利昭 (事務局)

参加者や実行委員のみなさまの熱意が、三鷹の市民力の高さなのだ実感しました。この会に参加できたことを感謝します。

田口 武 (事務局)

たくさんの方の貴重なご意見をお出しいただいた「まちづくりディスカッション」参加者のみなさまとコーディネーター養成講座から数えますと1年間にわたり取り組んでこられた実行委員のみなさまのおかげで、この報告書を作成することができました。心より感謝申し上げます。

高橋由紀子 (事務局)

2日間の「まちづくりディスカッション」が閉会した後に行われた自由参加の交流会への参加者数が、今回の「まちづくりディスカッション」の高い満足度を示していたと思います。ありがとうございました。

藤井泰男 (事務局)

まちづくりディスカッションにかかわることができて、本当に毎回多くのことを学ばせて頂いています。ご参加頂いた皆さま、運営に携わった皆さま、関係する全ての方々に心から感謝しています。

川口真生 (事務局)

行政の業界に入って日もまだ浅いですが、早くも協働事業に関わることとなりました。参加者の皆さま、実行委員会、事務局と良い人ばかりで楽しかったです。ありがとうございました。

肝付兼太郎 (事務局)

第4次基本計画策定に向けた
「みたかまちづくりディスカッション」
実施報告書